

# ミサ次第

【会衆用・簡易版】





# 開 祭

立つ

## 入祭の歌（入祭唱）と行列

司祭 父と子と聖霊のみ名によって。

会衆 アーメン。

## あいさつ

司祭 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の父わりが皆さんとともに。

または 司祭 父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が皆さんとともに。

または 司教が司式する場合・・・ 司教 平和が皆さんとともに。

会衆 また あなたとともに。

## 回心の祈り

司祭 皆さん、聖なる祭儀を行う前に、  
わたしたちの罪を認め、ゆるしを願いましょう。

一同 全能の神と、

兄弟姉妹の皆さんに告白します。

わたしは、思い、ことば、行い、怠りによってたびたび罪を犯しました。

聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟姉妹の皆さん、

罪深いわたしのために神に祈ってください。

または 司祭 主よ、あわれみをわたしたちに。 会衆 わたしたちはあなたに罪を犯しました。

司祭 主よ、いつくしみを示し、 会衆 わたしたちに救いをお与えください。

または 先唱 打ち砕かれた心をいやすために遣わされた主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 罪びとを招くために来られたキリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 父の右の座にあって、わたしたちのためにとりなしてくださる主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

司祭 全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、

永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

## いつくしみの賛歌（キリエ）

先唱 主よ、いつくしみを。 会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。  
先唱 キリスト、いつくしみを。 会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。  
先唱 主よ、いつくしみを。 会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。  
または 先唱 キリエ、エレイソン。 会衆 キリエ、エレイソン。  
先唱 クリステ、エレイソン。 会衆 クリステ、エレイソン。  
先唱 キリエ、エレイソン。 会衆 キリエ、エレイソン。

## 栄光の賛歌（グロリア）

天には神に栄光、  
地にはみ心にかなう人に平和。  
神なる主、天の王、全能の父なる神よ。  
わたしたちは主をほめ、主をたたえ、  
主を拝み、主をあがめ、  
主の大いなる栄光のゆえに感謝をささげます。  
主なる御ひとり子イエス・キリストよ、  
神なる主、神の小羊、父のみ子よ、  
世の罪を取り除く主よ、いつくしみをわたしたちに。  
世の罪を取り除く主よ、わたしたちの願いを聞き入れてください。  
父の右に座しておられる主よ、いつくしみをわたしたちに。  
ただひとり聖なるかた、すべてを越える唯一の主、  
イエス・キリストよ、  
聖霊とともに父なる神の栄光のうちに。  
アーメン。

## 集会祈願

司祭 祈りましょう。  
・・・聖霊による一致のうちにあなたとともに神であり、世々とこしえに生き、  
治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。  
会衆 アーメン。

# ことばの典礼

座る

## 第1朗読

朗読者 <sup>かみ</sup>神のみことば。

一同 <sup>かみ</sup> <sup>かんじや</sup>神に感謝。

## 答唱詩編

## 第2朗読

朗読者 <sup>かみ</sup>神のみことば。

一同 <sup>かみ</sup> <sup>かんじや</sup>神に感謝。

立つ

## アレルヤ唱（詠唱）

## 福音朗読

助祭 <sup>しゆ</sup> <sup>みな</sup>主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

助祭 ○○による<sup>ふくいん</sup>福音。

会衆 <sup>しゆ</sup> <sup>えいこう</sup>主に栄光。（額、口、胸に十字架のしるしをする）

（福音の終わりに）

助祭 <sup>しゆ</sup>主のみことば。

会衆 キリストに<sup>きんび</sup>賛美。

座る

## 説教

## 信仰宣言

## ニケア・コンスタンチノーブル信条

わたしは信じます。唯一の神、

全能の父、

天と地、見えるもの、見えないもの、

すべてのものの造り主を。

わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。

主は神のひとり子、

すべてに先立って父より生まれ、

神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、

造られることなく生まれ、父と一体。

すべては主によってつくられました。

主は、わたしたち人類のため、

わたしたちの救いのために天からくだり、

聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、

人となされました。 (下線を一同は礼をする。)

ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、

苦しみを受け、葬られ、

聖書にあるとおり三日目に復活し、

天に昇り、父の右の座に着いておられます。

主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。

その国は終わることがありません。

わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。

聖霊は、父と子から出て、

父と子とともに礼拝され、栄光を受け、

また預言者をおして語られました。

わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。

罪のゆるしをもたらず唯一の洗礼を認め、

死者の復活と

来世のいのちを待ち望みます。アーメン。

## 使徒信条

天地の創造主、

全能の父である神を信じます。

父のひとり子、わたしたちの主

イエス・キリストを信じます。

主は聖霊によってやどり、

おとめマリアから生まれ、 (下線部を一同は礼をする。)

ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、

十字架につけられて死に、葬られ、

陰府に下り、

三日目に死者のうちから復活し、

天に昇って、

全能の父である神の右の座に着き、

生者と死者を裁くために来られます。

聖霊を信じ、

聖なる普遍の教会、

聖徒の交わり、

罪のゆるし、

からだの復活、

永遠のいのちを信じます。アーメン。

## 共同祈願(信者の祈り)

# 感謝の典礼

座る

## 奉納行列

### パンとぶどう酒を供える祈り

司祭 神よ、あなたは万物の造り主。

ここに供えるパンはあなたからいただいたもの、

大地の恵み、労働の実り、

わたしたちのいのちの糧となるものです。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

司祭 神よ、あなたは万物の造り主。

ここに供えるぶどう酒はあなたからいただいたもの、

大地の恵み、労働の実り、

わたしたちの救いの杯となるものです。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

立つ

## 祈りへの招き

司祭 皆さん、ともにささげるこのいけにえを、

全能の父である神が受け入れてくださるよう祈りましょう。

会衆 神の栄光と賛美のため、

またわたしたちと全教会のために、

あなたの手を通しておささげするいけにえを、

神が受け入れてくださいますように。

## 奉納祈願

司祭 ……わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

## 奉献文（エウカリスティアの祈り）

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務め（です）。

**叙 唱** （叙唱は司祭が唱える祈りです）

## 感謝の賛歌（サントゥス）

一同 聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

天には神にホザンナ。

## 第3奉献文 （その他の奉献文は別途式次第をご参照ください）

司祭 まことに聖なる父よ、

造られたものはすべて、あなたをほめたたえています。

御子わたしたちの主イエス・キリストを通して、

聖霊の力強い働きにより、

すべてにいのちを与え、聖なるものとし、

たえず人々をあなたの民としてお集めになるからです。

日の昇る所から日の沈む所まで、

あなたに清いささげものが供えられるために。

聖なる父よ、

あなたにささげるこの供えものを、

いま、聖霊によって聖なるものとしてください。

御子わたしたちの主イエス・キリストの

御からだ + 御血になりますように。

キリストのことばに従って、いま、わたしたちはこの神秘を祝います。

主イエスは渡される夜、  
パンを取り、  
あなたに賛美と感謝をささげ、裂いて、  
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。

これはあなたがたのために渡される  
わたしのからだ（である）。」

(司祭がホステアを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。)

食事の後に  
同じように杯を取り、  
あなたに賛美と感謝をささげ、  
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。

これはわたしの血の杯、  
あなたがたと多くの人のために流されて  
罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血（である）。

これをわたしの記念として行いなさい。」

(司祭がカリスを示した後、会衆は司祭とともに手を合わせて深く礼をする。)

司祭 信仰の神秘。

会衆 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。

再び来られるときまで。

または 会衆 主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、  
あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。

または 会衆 十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、  
わたしたちをお救いください。

司祭 聖なる父よ、

わたしたちはいま、御子キリストの救いをもたらす受難、復活、昇天を記念し、  
その再臨を待ち望み、

いのちに満ちたこの聖なるいけにえを感謝してささげます。

あなたの教会のささげものを顧み、

まことの和解のいけにえとして認め、受け入れてください。

おんこ 御子キリストの御からだとおんち 御血によってわたしたちが養われ、  
せいれい 聖霊に満たされて、

キリストのうちに、一つのからだ、一つの心となりますように。  
せいれい 聖霊によってわたしたちを、

あなたにささげられた永遠の供えものとしてください。

えら 選ばれた人々、神の母おとめマリアと聖ヨセフ、  
しと 使徒と殉教者、(聖○○○○)、

すべての聖人とともに神の国を継ぎ、  
その取り次ぎによってたえず助けられますように。

わたしたちの罪のゆるしとなるこのいけにえが、  
ぜんせかい 全世界の平和と救いのためになりますように。

ちじょう 地上を旅するあなたの教会、  
きょうこう 教皇○○○○、わたしたちの司教○○○○、

しきょうだん 司教団とすべての奉仕者を導き、  
あなたの民となったすべての人の信仰と愛を強めてください。

あなたがここにお集めになったこの家族の願いを聞き入れてください。

いつくしみ深い父よ、

あなたの子がどこにいても、すべてあなたのもとに呼び寄せてください。

† 亡くなったわたしたちの兄弟姉妹、

また、み旨に従って生活し、いまはこの世を去ったすべての人を、  
あなたの国に受け入れてください。

わたしたちもいつかその国で、いつまでもともにあなたの栄光にあずかり、  
喜びに満たされますように。

わたしたちの主イエス・キリストを通して、  
あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。†

(†の部分、死者のためのミサがささげられる場合、次の祈りを唱えることができる。)

†(きょう、) この世からあなたのもとに召された ○○○○を心に留めてください。

洗礼によってキリストの死にあずかった者が、その復活にもあずかることができますように。

キリストは死者を復活させるとき、滅びゆくわたしたちのからだを、

ご自分の栄光のからだに変えてくださいます。

また、亡くなったわたしたちの兄弟姉妹、み旨に従って生活し、いまはこの世を去ったすべての人を、  
あなたの国に受け入れてください。

わたしたちもいつかその国で、いつまでもともにあなたの栄光にあずかり、喜びに満たされますように。

そのときあなたは、わたしたちの目から涙をすべてぬぐい去り、  
わたしたちは神であるあなたをありのままに見て、永遠にあなたに似るものとなり、  
終わりにあなたをたたえることができるのです。  
わたしたちの主イエス・キリストを通して、あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。†

司祭 キリストによってキリストとともにキリストのうちに、主<sup>しゅ</sup>  
聖霊<sup>せいれい</sup>の交わり<sup>まじ</sup>の中で、全能<sup>なか</sup>の神<sup>ぜんのう</sup>、父<sup>かみ</sup>であるあなたに、  
すべての誉れ<sup>ほま</sup>と栄光<sup>えいこう</sup>は、世々<sup>よ</sup>に至<sup>いた</sup>るまで、  
会衆 アーメン。

## 交わりの儀（コムニオ）

### 主の祈り

司祭 主<sup>しゅ</sup>の教え<sup>まも</sup>を守り、みことばに<sup>したが</sup>従い、つつしんで主の祈りを唱えましょう。  
一同 天<sup>てん</sup>におられるわたしたちの父<sup>ちち</sup>よ、  
み名<sup>な</sup>が聖<sup>せい</sup>とされますように。み国<sup>こく</sup>が来<sup>き</sup>ますように。  
みこころが天<sup>てん</sup>に<sup>おこな</sup>行われるとおり地<sup>ち</sup>にも<sup>おこな</sup>行われますように。  
わたしたちの日<sup>ひ</sup>ごとの糧<sup>かて</sup>を今日<sup>けふ</sup>もお与<sup>たま</sup>えください。  
わたしたちの罪<sup>つみ</sup>をおゆるしください。わたしたちも人<sup>ひと</sup>をゆるします。  
わたしたちを誘惑<sup>ゆうわく</sup>におちいらせず、悪<sup>あく</sup>からお救<sup>すく</sup>いください。

司祭 いつくしみ深い父<sup>ちち</sup>よ、すべての悪<sup>あく</sup>からわたしたちを救<sup>すく</sup>い、  
世界<sup>せかい</sup>に平和<sup>へいわ</sup>をお与<sup>たま</sup>えください。  
あなたのあわれみに支<sup>さ</sup>えられて、罪<sup>つみ</sup>から解放<sup>かいほう</sup>され、  
すべての困難<sup>こんなん</sup>に打ち勝<sup>か</sup>つことができますように。  
わたしたちの希望<sup>きぼう</sup>、救<sup>すく</sup>い主<sup>しゅ</sup>イエス・キリストが来<sup>き</sup>られるのを待<sup>まち</sup>望<sup>のぞ</sup>んでいます。  
会衆 国<sup>くに</sup>と力<sup>ちから</sup>と栄光<sup>えいこう</sup>は、永遠<sup>えいえん</sup>にあなたのもの。

### 教会に平和を願う祈り

司祭 主<sup>しゅ</sup>イエス・キリスト、あなたは使徒<sup>しと</sup>に仰<sup>おほ</sup>せになりました。  
「わたしは平和<sup>へいわ</sup>を残<sup>のこ</sup>し、わたしの平和<sup>へいわ</sup>をあなたがたに与<sup>あた</sup>える。」  
主<sup>しゅ</sup>よ、わたしたちの罪<sup>つみ</sup>ではなく、教会<sup>きょうかい</sup>の信仰<sup>しんこう</sup>を顧<sup>かえり</sup>み、  
おことばのとおり教会<sup>きょうかい</sup>に平和<sup>へいわ</sup>と一致<sup>いっし</sup>をお与<sup>たま</sup>えください。  
あなたはまことのいのち、すべてを導<sup>みちび</sup>かれる神<sup>かみ</sup>、世々<sup>よ</sup>とこしえに。  
会衆 アーメン。

## 平和のあいさつ

司祭 主の平和がいつも皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

助祭 互いに平和のあいさつを交わしましょう。

(一同は平和と一致と愛を示すために、地域の慣習に従って互いにあいさつを交わす。)  
(日本では手を合わせ、「主の平和」と言って互いに礼をすることができる。)

## パンの分割

### 平和の賛歌（アニュス・デイ）

世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く神の小羊、平和をわたしたちに。

### 拝領前の信仰告白

司祭 世の罪を取り除く神の小羊。

神の小羊の食卓に招かれた人は幸い。

会衆 主よ、わたしはあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。

おことばをいただくだけで救われます。

または 会衆 主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、  
あなたをおいてだれのところに行きましょう。

## 司祭の拝領

### 拝領の歌（拝領唱）

(司祭がキリストの御からだを拝領している間に、拝領の歌を始める。)

### 信者の拝領

司祭 キリストの御からだ。

拝領者 アーメン。

御血も拝領する場合・・・ 司祭 キリストの御血。 拝領者 アーメン。

ホステリアを御血に浸し拝領する場合・・・ 司祭 キリストの御からだと御血。 拝領者 アーメン。

(拝領後、一同はしばらく聖なる沈黙のうちに祈る。)

適当であれば、詩編か他の賛美の歌、もしくは賛歌を歌うことができる。)

### 拝領祈願

司祭 祈りましょう。・・・

会衆 アーメン。

座る

立つ

# 閉 祭

## お知らせ

### 派遣の祝福

司祭 <sup>しゅ</sup>主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司祭 <sup>ぜんのう</sup>全能の神、<sup>かみ</sup>父と<sup>ちち</sup>子と<sup>こ</sup>聖霊の<sup>せいれい</sup>祝福が + <sup>しゅくよく</sup>皆さんの<sup>みな</sup>上<sup>うえ</sup>にありますように。

会衆 アーメン。

(司教が司式するミサでは、司式司教はミトラを着け、手を広げて唱える。)

司教 主は皆さんとともに。

会衆 またあなたとともに。

司教 主のみ名がいつもたたえられますように。

会衆 いまよりとこしえに。

司教 主のみ名はわたしたちの助け。

会衆 主は天地の造り主。

司教 全能の神、父と + 子と + 聖霊の + 祝福が皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

### 閉祭のことば

助祭 <sup>かんじや</sup>感謝の<sup>まいぎ</sup>祭儀を<sup>お</sup>終わります。

<sup>い</sup>行きましょう、<sup>しゅ</sup>主の<sup>へいわ</sup>平和のうちに。

または (感謝の祭儀を終わります。)

行きましょう、主の福音を告げ知らせるために。

または (感謝の祭儀を終わります。)

平和のうちに行きましょう、日々の生活の中で主の栄光をあらわすために。

会衆 <sup>かみ</sup>神に<sup>かんじや</sup>感謝。

### 閉祭の歌

### 退堂



